

「治せる」事実が、患者の信頼を得る・・・  
咬合を科学として捉えよう

# 咬合治療への道 in 函館

～力の診断とそのコントロールの実際～

私たち歯科医療従事者の職業的使命はなんでしょう？

私たちは、従来とは違った視点で咬合を診るようになってから、患者さんのからだ全体の健康に深く関わっているという臨床実感を日々新たにしています。患者さんの姿勢、表情、歯牙を観察し、歪みの原因を考察することによって、驚くほどに全身の問題を改善することもできれば、歯だけ診てからだ全体に新たな問題を引き起こしてしまうこともわかりました。ME機器を使用したエビデンスも使いながら、新たな「咬合」を考えたいと思っています。



筒井照子先生

日時 **2017年4月16日** 日

受付9:00～(開演9:30)

会場 **函館歯科医師会館**

函館市大手町3番3号 TEL:0138-23-3650

## 「咬合治療への道」函館講演会タイムスケジュール

9:30	開会の辞	
9:35	筒井臨床総論	飯田 光穂
10:05	力の診断とそのコントロールの実際 ～40年歯科臨床から辿り着いた口腔治療への道～	筒井 照子
11:35	昼 食	
12:25	咬合面形態と咬合の再構成	増田 長次郎
13:25	照子先生だから出来るんでしょ？って思っていない？	川端 秀治
13:55	咬合療法を考慮した一症例	矢守 俊介
14:25	休 憩	
14:40	態癖から下顎位、歯列形態を守る	富岡 愛理
15:20	治療の基本-Stomatologyの分類 ～個体差による治療への方程式～	筒井 照子
16:50	質疑応答	
17:00	閉会の辞	



## 申込方法

下記参加申込書にご記入のうえ、FAXでお申し込み下さい。  
お申込みは入金の確認をもって正式なご登録といたします。

【振込先】北海道銀行 東山支店 (普) 0597084  
北海道保険医会函館地区支部

【申込締切日】2017年3月16日(木)まで

※ 振込手数料はご負担下さい。  
※ ご入金後のキャンセルはご返金いたしかねますのでご了承ください。

定員 120名

注意事項 当日会場内での撮影・録音は禁止とさせていただきます。

## お問い合わせ

藤川歯科医院 藤川光博  
TEL 0138-55-1118 E-mail: fujikawa.den@outlook.jp  
中野デンタルクリニック 中野敏昭  
TEL 0138-59-2311 E-mail: nakano-dent419@flute.ocn.ne.jp

## 参加費

北海道保険医会 歯科医師 6,000円 (昼食代、消費税含む)  
会員 (勤務スタッフ) 歯科技工士/歯科衛生士/歯科助手/受付 4,000円

咬合療法研究会 歯科医師 8,000円 (昼食代、消費税含む)  
会員 (勤務スタッフ) 歯科技工士/歯科衛生士/歯科助手/受付 4,000円

非会員 歯科医師 10,000円 (昼食代、消費税含む)  
(勤務スタッフ) 歯科技工士/歯科衛生士/歯科助手/受付 6,000円

※当日、保険医会入会の方は参加費6,000円になります。

主催：北海道保険医会函館地区支部

後援：筒井塾 咬合療法研究会

協賛：北海道歯科産業株式会社・和田精密歯研株式会社・伊藤超短波株式会社

2017年4月16日「咬合治療への道」セミナー参加申込書

※申込書はお一人様1枚で申し込んで下さい。不足の場合はコピーして下さい。

FAX : 0138-59-4717

フリカナ お名前	<input type="checkbox"/> 北海道保険医会会員 <input type="checkbox"/> 咬合治療研究会会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 歯科助手 <input type="checkbox"/> 受付
医院名	ご住所 〒□□□-□□□□ 都道府県
お電話番号 ( ) -	

# 【咬合治療への道】 演者紹介及び抄録

みえて来た咬合治療への道 すこやかにエイジングしていただくために世界として出来ること



**筒井 照子先生** (日本包括歯科臨床学会顧問、筒井塾咬合療法研究会主宰、筒井塾主宰、J A C D主)

歯科医療とは、病態に陥った原因を探し、取り除き、生体の治癒能を引き出しながら的確な修復処理を行い、さらに治癒能を高くしていくでしょう。生体を治癒に導くには、Stomatology (口腔医学—病態に陥った原因を探し、取り除き、手を貸し、生体の引き出す) とDentistry (歯科修復学—崩壊した部分を修復することによって崩壊以前の口腔に戻す) のバランスのとれた両輪です。「口腔の加齢・崩壊と治癒とは」、生体にとって何をしたら崩壊につながり、何をもちって治癒に切りかえることができる33年間の臨床の中から得た「口腔治療への道」が具体的に見えて来るようになりました。多くの方にご理解頂ければ幸いです

## 筒井臨床総論



**飯田 光穂先生** (筒井塾咬合療法研究会インストラクター)

筒井先生は20年程前に顎口腔系を崩壊させる「力」の存在に気付かれ、その「力」がなぜ生じるのかを長年追求されてきましたそしてその答えが、下顎位を含めた顎口腔機能異常だったのです。本日の講演会で、私達歯科医療従事者にしか扱えない顎口腔機能、顎口腔形態が口腔内の健康に留まらず、全身の健康と深く関係していることに皆様は気付かれることでしょうか。私は、筒井臨床が理想的機能形態をどう捉えているのか？そして、それを獲得・維持・回復する為にどのようにしているのかを従来の咬合論との違いを示しながら聞いて頂こうと考えております。

## 咬合面形態と咬合の再構成



**増田 長次郎先生** (筒井塾咬合療法研究会インストラクター)

日本人にとって理想的な咬合面形態をしっかりとからだで覚えておくことが、歯冠修復ばかりでなく、プロビジョナルの修正に咬合調整においてきわめて重要です。下顎の機能運動と長年の臨床経験から導き出された咬合面形態とはどんなものか、是非知っていただきたいと思ひます。

## 照子先生だから出来るんでしょ？って思っていない？



**川端 秀治先生** (筒井塾咬合療法研究会認定医)

咬合療法研究会北日本支部として活動が始まった2006年から10年経ちました。この10年で北海道の歯科医療に筒井臨床どれほど広まったのか。まだまだ充分とは言えません。筒井先生の臨床を何とか自分のモノにしたいと、この10年間スタッフ真剣に取り組みました。咬合療法の認定医として、包括歯科臨床学会で初診から9年経過(現在もメンテナンス中)のフルマウケースを発表できるまでに歯科医師として成長する事が出来たのは、筒井先生がご活躍なさっているこの時代に自分が臨床医として成長の場を重ねることが出来たからです。この北の地で確かな診断と確実な臨床を手中にした仲間が増えることを願ってやみません。

## 咬合療法を考慮した一症例



**矢守 俊介先生** (筒井塾咬合療法研究会認定医)

包括歯科臨床とは、最小の侵襲で最大の効果を上げることが求められます。患者さんの抱える問題点の原因はどこにあるのかを診査・診断して、原因を取り除くために基本的な手技を行い治療するのみでなく、態癖などの生活習慣や口腔周囲筋の問題を明にして進めなければなりません。そのためには診査した資料を基に現状の把握に努め、原因を紐解き治療の目標を明確にして進めなければなりません。今回不定愁訴を抱えた顎偏位症例について、ゴールを設定して治療計画をたて、歯牙移動も含めて治療介して最終的にある程度症状の改善が認められたのでその治療過程について拙い臨床を提示し、ご意見を伺いたいと思ひます。

## 態癖から下顎位、歯列形態を守る



**富岡 愛理さん** (旭川市中山歯科医院勤務歯科衛生士)

学生時代には筒井先生の咬合療法のような口腔内と全身の関わりについて学ぶ機会はありませんでしたが、臨床に出てから先生先輩に態癖が咬合に色々な影響を及ぼすことを教わりました。態癖により下顎位・歯列をゆがませ、咬合を壊している人が実にそしてその咬合異常により機能の悪化を招き、歯周病や顎関節など様々なところに影響がでてくるのがわかりました。私は昨務めたばかりで臨床経験も浅く、咬合療法についても学び始めたばかりで至らない点も多々あるかと思ひますが、日々の診療の咬合療法の知識がない患者さんにどのように態癖の事を理解してもらい改善に繋げていくのか、自分なりに取り組んでいる態癖方などを聞いて頂き、咬合療法に携わる先生や先輩方からたくさん事を学ばせて頂ければと思ひますのでご指導、ご助言を頂ひ思ひます。